

小学校で夢中になったサッカー

—お二人は学年は違いますが、富美浜小学校から福栄中学校へ進学と、同じ小学校・中学校に通っていたそうです。

茶野 初めは、阿部くんと同じ富美浜小学校だったけれど、それから新しくできた福栄小学校に移ったんです。

阿部 えっ、どうして、どうして？

茶野 小学校が新設されて、学区で分けられた。

阿部 そうか、僕は4丁目だったから…。

茶野 富美浜小学校は6クラスもあつたけれど、福栄小学校は3クラスでもよかったですよ。

阿部 あー、いいな！(笑)。

—サッカーを始めたのは、いつからですか。そして、そのきっかけは何でしたか。

茶野 福栄小学校に移った小学校3年生からです。

阿部 僕は小学校の1年くらいからかな。その前も幼稚園のときにスクールに通っていたんです。

茶野 きっかけは、親がサッカーボールを買ってくれて…。そのころ、アニメの「ギャプテン翼」に夢中だったから。

阿部 僕も見えていた！僕は、8歳上の兄がやっていたのでその影響で始めたんです。兄はいまサッカーとは全然関係ないけれど、よく相手をしてくれました。

—もう、そのころからプロになりたいと思っていたんですか。



小学校、中学校の先輩・後輩だった茶野隆行選手と阿部勇樹選手。

阿部勇樹 あべゆうき
1981年9月6日生まれ。東京学館浦安高校卒業。市川FC、ジェフユナイテッド市原ジュニアユース、ジェフユナイテッド市原ユースを経てジェフユナイテッド市原入団。



茶野隆行 ちやのたかゆき
1976年11月23日生まれ。船橋市立船橋高校卒業。同校3年のときに出場した高校選手権で優勝した実績と実力を買われてジェフユナイテッド市原入団。



—子どものころの大会や試合で印象深かったものがありますか。

阿部 南の地区だけの南部杯というのがあって、運よく優勝できたんです。それがとてもうれしかったです。

茶野 運よく？ 当然とか思ってるでしょ！



茶野選手・阿部選手をみんなで応援しよう！

フットパーク姉崎にあるジェフユナイテッド市原の練習グラウンド。公開練習もぜひ見に行ってください。みんなで応援しましょう。詳しくはジェフユナイテッド市原公式サイトでチェック！

URL
<http://www.sonet.ne.jp/JEFUNITED>



子どもたちのお手本にならなければ

—プロになってよかったと思うことはどんなことでしょうか。

茶野 プロになってよかったなと思うのは、大勢の人の中で試合ができることです。周りの人がいて僕がいるんです。そして、子どもたちのお手本にならなければいけない、と思っっています。

阿部 うわー、言いたいこと全部言われちゃいました。小さいときから好きだったサッカーを毎日できることがうれしいですね。



いろいろなポジションを経験してきたという阿部さんに対し、ずっとDFだったという茶野さんに「よっ、生まれながらのDF!」と阿部さんの声がかかる。

茶野 そんなことはないと思うけれど、小学校の卒業アルバムに「僕の夢」ということで、「将来はサッカー選手になりたい」なんて書いてあるんです(笑)。

阿部 小学校6年の時にJリーグができました。だから、なれたらいいなあ、とは思っていました。ジェフユナイテッドのジュニアユースに入っていた時には、トップ(ジェフユナイテッド市原)の試合は見に行けたんです。すごくあこがれていました。

悪ガキ!と泣き虫!

—市川で過ごした少年時代は、どんな子どもでしたか。

茶野 僕はすごい悪ガキでした(笑)。みんなの問題ばかり起こすものだから、連帯責任だつてわけで坊主にさせられましたよ。朝はちゃんと髪があつて家を出たのに、帰って来たときは坊主になってた。サッカー部の先生にみんなを坊主にさせられちゃったんです。

阿部 まさか、まさか、もう、茶野さん。試合ができてよかったと思っっています。千葉市のチームがすごく強かったなあという印象がありますね。それと、何よりも中学総体が一番大切でした。負けたら引退がかかっていましたから。全国大会に出るか出ないかの瀬戸際のベスト8で負けて、すごく悔しかった。

阿部 そうね、塾なんかに行くときさ会うと、「あ、噂の茶野さんだ!」なんて、ぼーっと見ていた(笑)。

茶野 ええっ! どんな噂?

阿部 すごく悪い噂。嘘うそ。今は冗談(笑)。みんなのあこがれだったんです。一度、卒業後に中学に来たことがあつたでしょう。サインをもらっちゃつたつて、すごく喜んでいたりしていたね。

茶野 いまだに実家に帰ると、地元の友だちと南行徳にご飯を食べに行ったりしていますよ。昔の悪ガキも、いまはちゃんと更正しましたから(笑)。

—そういう阿部さんはどんな子どもだったんですか。

阿部 すごく分りやすいですよ。僕は泣き虫だった。勝負なんかで負けるとすぐ泣いちゃうんです。学校の部活でサッカー、週に3回はジュニアユースというふうにはサッカー漬けで、普段友だちと遊べなかつた分、修学旅行とか学校行事がすごく楽しかったのを覚えてます。

—最後に、市川のスポーツ少年、少女たちに、メッセージをいただけますか。

茶野 好きなことを一生懸命やれば、必ず希望はかないます。僕らでもプロになれた。最後までがんばって、勉強もして、そしてまた、ボールをけつてね。

阿部 僕は楽しいからボールをけつてきた。だから、みんなも楽しんでやってほしい。プロにならなくても、経験は決して無駄にならない。楽しんでできればいいと思っっています。

—どうもありがとうございます。



試合の日以外はほぼ毎日練習がある。休憩もなしに2時間程まったりと体を動かす。

